

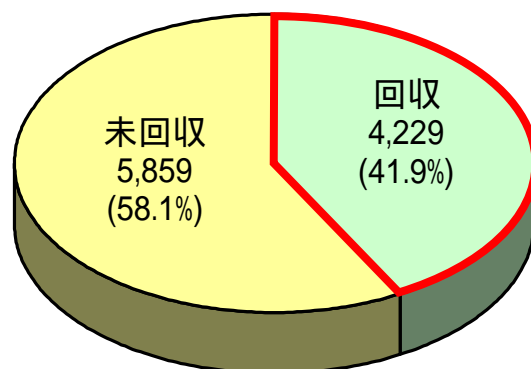
国道159号(浅野川大橋～東山～山の上)交通安全対策協議会

事前アンケート 結果報告(概要)

平成19年3月5日



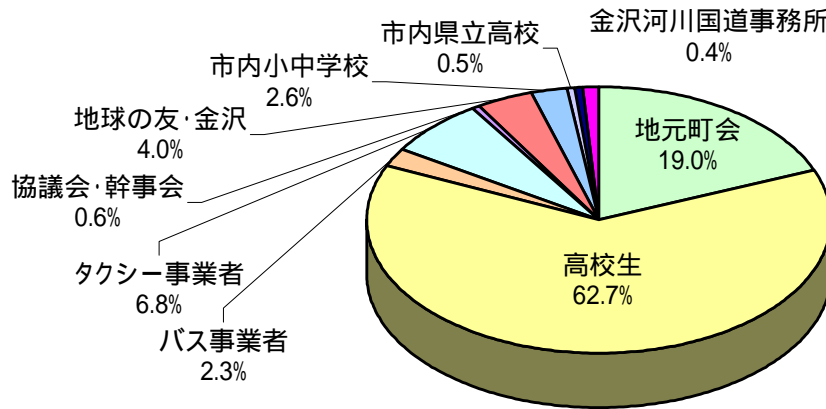
配布・回収結果



10,088枚配布し、回収率:41.9%
比較的高い回収率となった(通常2~3割程度)

配布・回収結果

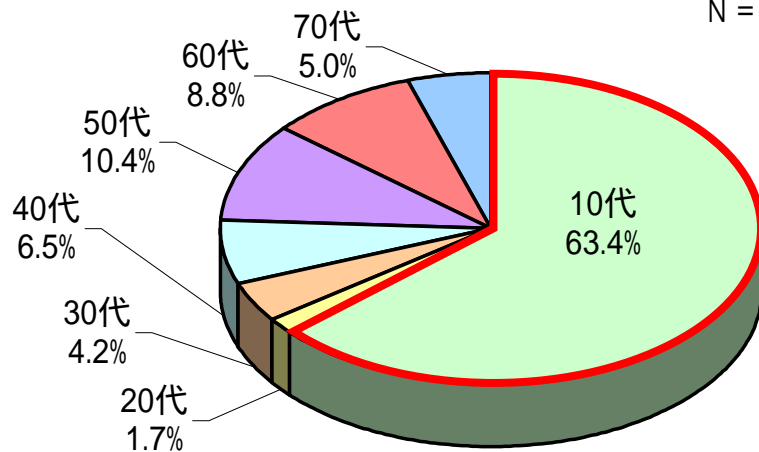
N = 4,229



「高校生」62.7%、「地元町会」19.0%

回答者の年代

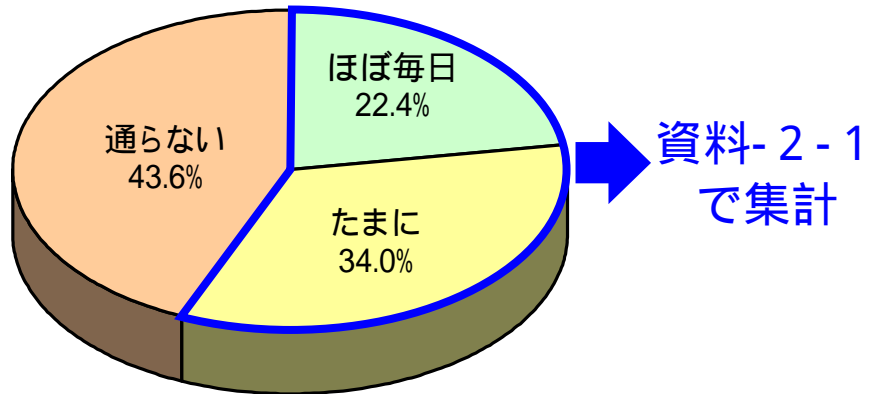
N = 4,229



高校生の回答が多く、「10代」が63%を占める

対象区間の通行の有無

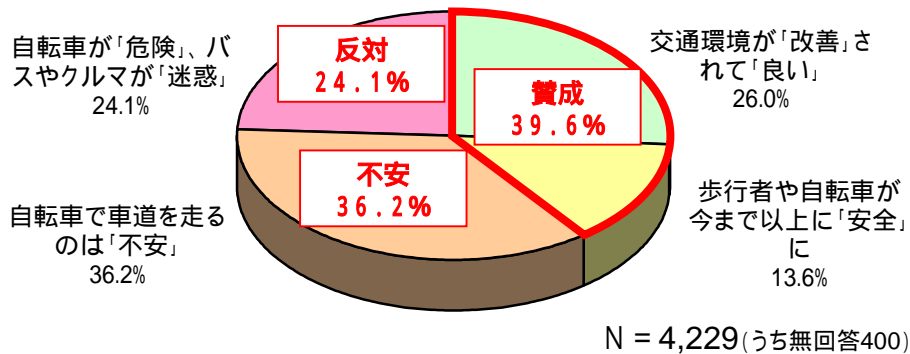
N = 4,229(うち無回答40)



対象区間を通る回答者は全体の約6割

1 . 社会実験の賛否

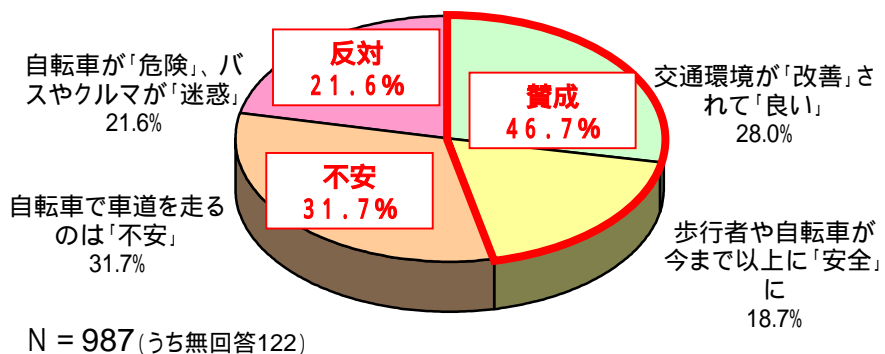
Q. 今回の交通安全対策(バスレーン左端の左側通行)についてどう思いますか？



「賛成」：4割、「不安」：4割、「危険・迷惑」：2割
 賛成・・・歩行者が安全に、自転車が走りやすくなる...等
 不安・・・車道は怖い、危険、走りにくい、邪魔になる...等

Q. 今回の交通安全対策(バスレーン左端の左側通行)についてどう思いますか？

対象区間を「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した**高校生987名**を対象に集計

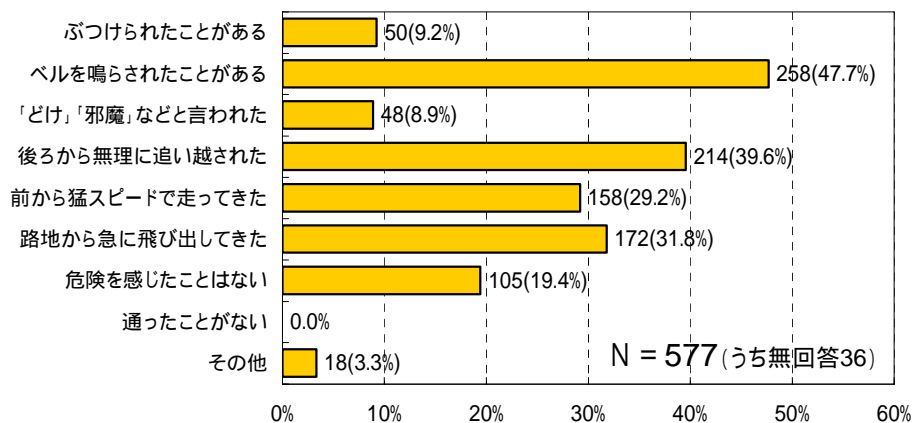


対象区間を通る高校生は「賛成」47%
 全体的な傾向に比べて高校生は賛成割合が高い

2 . 歩行者の視点

Q . 対象区間の歩道上で自転車を危険に感じたことは？

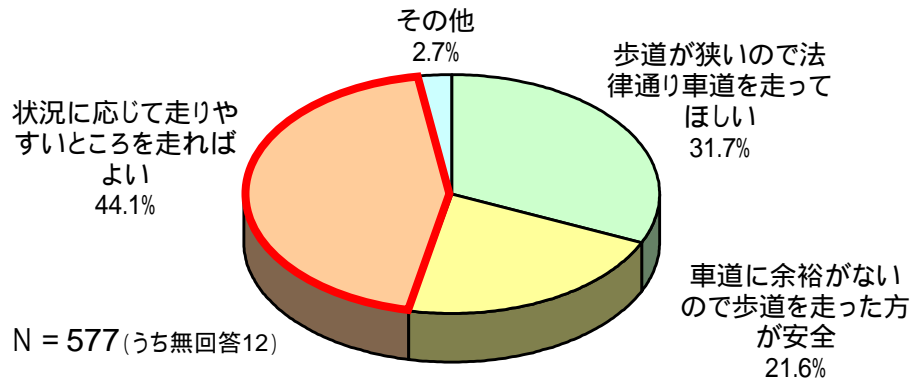
対象区間を徒歩で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した577名を対象に集計



対象区間では、ほとんどの歩行者が自転車を危険に感じたことがある。

Q. 対象区間では、歩行者からみて自転車はどこを走るべきだと思いますか？

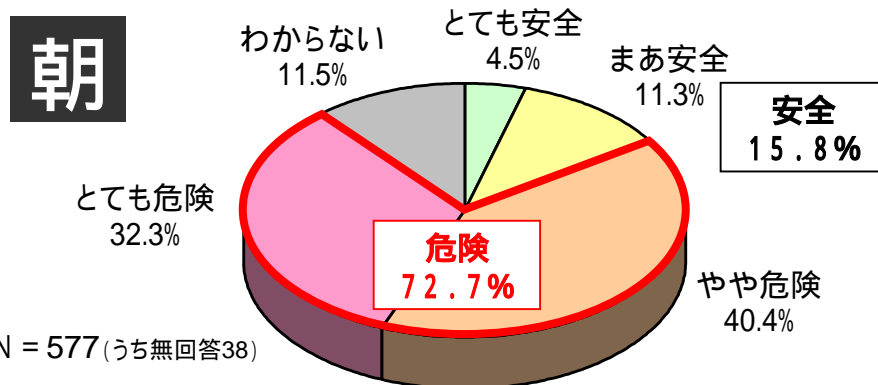
対象区間を徒歩で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した577名を対象に集計



「状況に応じて走りやすいところ」・・・44%
 「法律通り車道」・・・32%（「歩道」より多い）

Q. 対象区間の現状は、歩行者にとって安全だと思いますか？

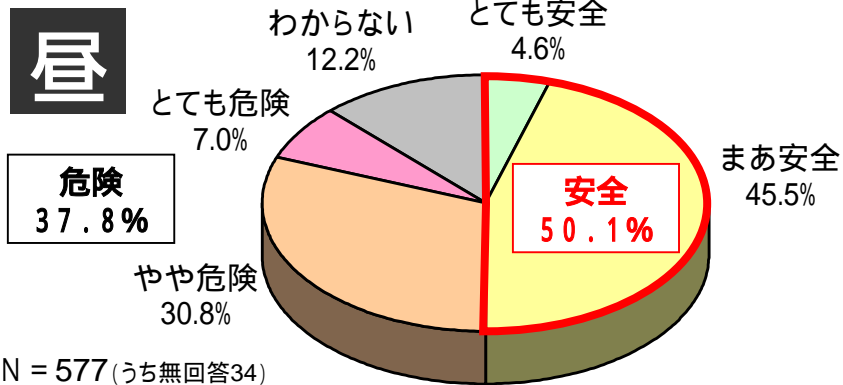
対象区間を徒歩で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した577名を対象に集計



朝は、歩行者にとって「危険」との回答が73%を占める。

Q. 対象区間の現状は、歩行者にとって安全だと思いますか？

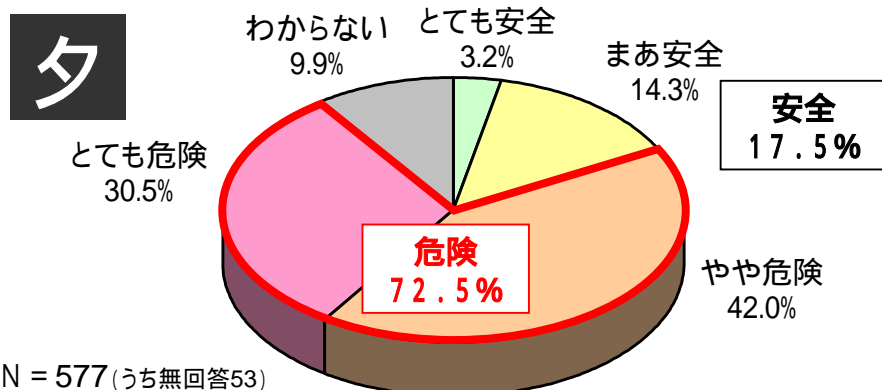
対象区間を徒歩で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した577名を対象に集計



昼は、歩行者にとって「安全」との回答が50%を占める。

Q. 対象区間の現状は、歩行者にとって安全だと思いますか？

対象区間を徒歩で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した577名を対象に集計

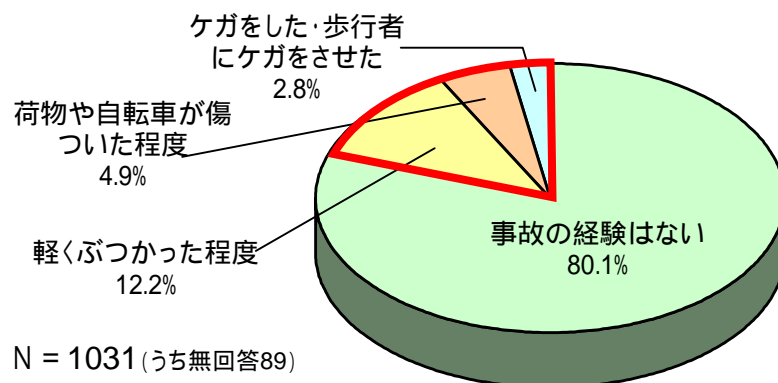


夕方は、朝同様、歩行者にとって「危険」との回答が73%を占める。

3 . 自転車の視点

Q . 対象区間を自転車で走るとき、歩行者との事故を経験したことはありますか？

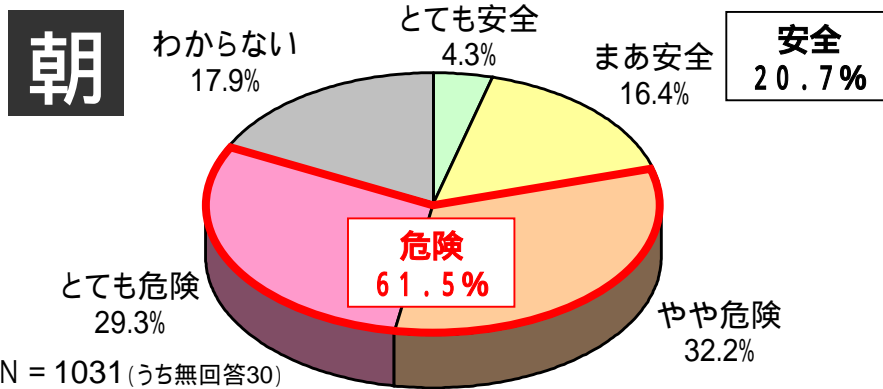
対象区間を自転車で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した1,031名を対象に集計



対象区間を自転車で走る回答者の約2割が歩行者との事故を経験している

Q. 対象区間は、自転車にとって安全だと思いますか？

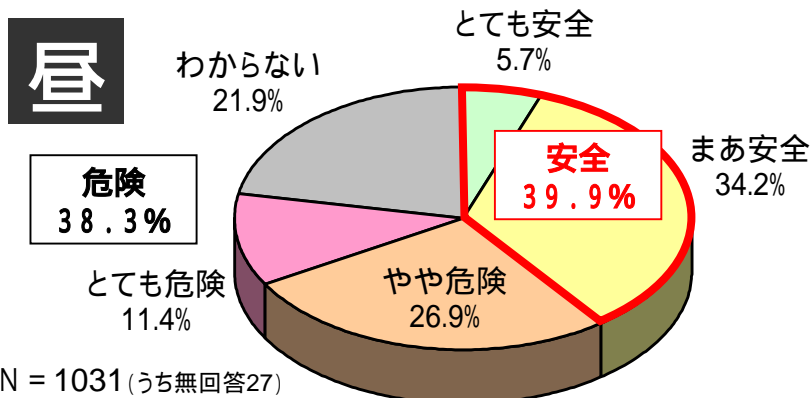
対象区間を自転車で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した1,031名を対象に集計



朝は、自転車にとって「危険」との回答が約6割を占める。

Q. 対象区間は、自転車にとって安全だと思いますか？

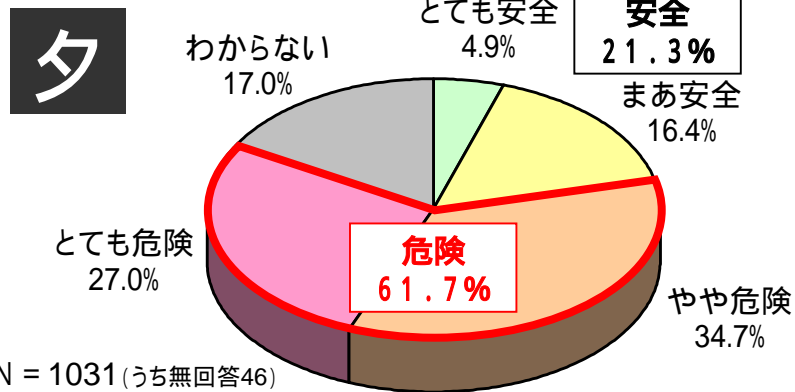
対象区間を自転車で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した1,031名を対象に集計



昼は、自転車にとって「安全」との回答が約4割を占める。

Q. 対象区間は、自転車にとって安全だと思いますか？

対象区間を自転車で「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した1,031名を対象に集計

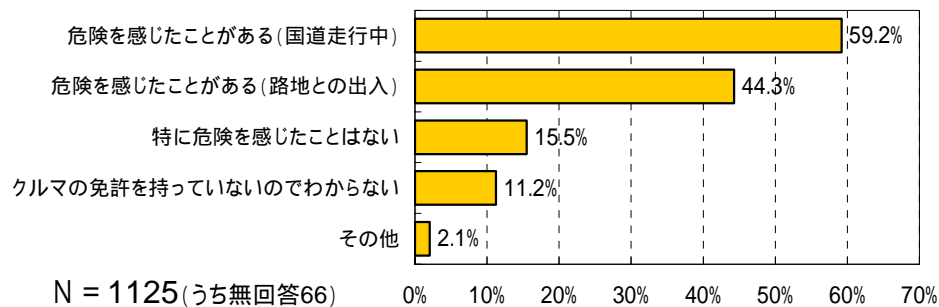


夕方は、朝同様、自転車にとって「危険」との回答が約6割を占める。

4 . クルマの視点

Q. 対象区間をクルマで走行中、自転車を危険に感じたことは？

対象区間をクルマで「ほぼ毎日通る」「たまに通る」と回答した1,125名を対象に集計



6割は、自転車の逆走や並進、飛び出し等に危険を感じている

4割は、路地との出入に危険を感じている

5 . まとめ

まとめ

現状について

歩行者・自転車・クルマそれぞれの立場から、対象区間の現状は朝夕が「危険」との意見多数



歩行者・自転車・クルマ(バス)のそれぞれが安全に安心して通行できる道路空間を創出するための「**交通ルールづくり**」が必要！



社会実験を通じて、みんなが安全・安心な道路空間の創出を目指す！

まとめ

社会実験について

約4割が賛成しているが、自転車の車道走行に対して「不安」を抱いている人も多い



街頭指導や広報活動を実施し、**ゆずりあいの心**で、みんなが安全に通行できるよう**交通安全意識の啓発**を図る

自転車・・・「自転車走行指導帯」を左側通行
クルマ・・・「バスレーン」「駐停車禁止」を守る
バス・・・「ゆずりあい」で自転車と共存